2020年度　日本工学院八王子専門学校											
鍼灸科											
漢方薬概論											
対象	3年次	開講期	通年	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	石毛敦／岡安維蓉			実務経験	有	職種	薬学博士（石毛）、医師、医学博士（岡安）				

授業概要

一般的に良く使われる生薬・方剤について学ぶ。現在の医療の中では新薬以外にも漢方薬が処方される機会が多い。東洋医学では本来漢方薬と鍼灸は補完する関係にあり、同時に用いられることも多い。また、人体の状態を判断した結果の「証」立てに関しての考え方にも共通することが多く学ぶべきことが多い。漢方薬を学ぶことにより身体を理解する力を育てる。

到達目標

東洋医学の専門家を自覚し、患者の状態から必要な漢方薬のアドバイスができるようになってもらいたい。実際に漢方薬を処方されている患者に対してその知識があれば、その薬功に相反しない鍼灸治療を選択することができる。生薬・方剤の性質を深く理解し治療に生かしていくことが、患者に対してのより良い方向性ということを理解することが必要である。

授業方法

漢方薬の方意を中心に解説を行い、どのような患者に使用するものなのかを講義する。漢方薬を構成するのは生薬であり、その生薬の形状や味から名称が分かるように解説していく予定である。実際に多くの処方がされている現実はあるが、多様な生薬の組み合わせで多くの方剤が存在する。代表的な処方なども紹介し、漢方薬の持っている方向性を理解させる。

成績評価方法

講義中に行う質問や試験により評価する。

履修上の注意

授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。

教科書教材

漢方処方と方位（南山堂）

回数	授業計画
第１回	漢方薬と鍼灸の関係
第２回	傷寒論とは
第３回	病期の考え

2020年度　日本工学院八王子専門学校	
鍼灸科	
漢方薬概論	
第４回	夏に備える
第５回	水毒とは何か
第６回	水毒に対する処方の応用
第７回	気血水とは何か
第８回	頭痛に対する考え方
第９回	気虚について
第１０回	気滞に対しての対処
第１１回	血虚とはどのような状態か
第１２回	血虚と肌の関係
第１３回	冷えを学ぶ
第１４回	冷えを改善する
第１５回	風邪（ふうじゃ）に対する処方